

# Some Naturalized Grasses Found in Hokkaido in Recent Years

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-12-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24517/00056318">https://doi.org/10.24517/00056318</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## 桑原義晴\*：近年北海道に帰化したイネ科植物

## Yoshiharu KUWABARA\* : Some Naturalized Grasses Found in Hokkaido in Recent Years.

イネ科植物のうち、ウシノケグサ亜科に属する種類は温帯系のものであるのに対して、キビ亜科とスズメガヤ亜科の種類は熱帯系のものである。したがって、北海道においては前者の方が後者よりも優勢である。また、後者にみられる種類はおおむね一年生で花期はおそく、耐寒性は前者より弱い。それにもかかわらず、近年キビ亜科のオオクリノイガ(図1-1)やオオクサキビ(1-2)、ニコゲヌカキビ(1-3)、ハナクサキビ(1-4)、スズメガヤ亜科のシナダレスズメガヤ(1-5)などが、北海道西南部のおもに港湾都市やその周辺に住み着くようになった。

上記のうち、ハナクサキビは本年(1981)9月太田顕氏(栃木県那須郡草地試験場)によって小樽市で採集されたもので、その他は原松次氏(文化女子大学室蘭短期大学)によって室蘭市をはじめ苫小牧、白老、登別、伊達方面で発見されたものである。

(1)オオクリノイガ *Cenchrus tribloides* LINN. 北アメリカ東部海岸および西インド諸島原産の一年生草本。穂状花序は長さ5~8cmで、ほとんど無梗の総包にかこまれた小穂を着け、小穂の中には1個の不稔性小花と1個の稔性小花とが含まれている。筆者はかつて、長野県諏訪市の浜

栄助氏よりおくられた種子を自宅の庭にまいてみたが、花期が晩秋近くに差し掛かったために強霜にかかり、すっかり枯れてしまい、ついに結実を見る事が出来なかった。

(2)オオクサキビ *Panicum dichotomiflorum* MICHX. 北アメリカからアルゼンチンに至る地方原産の一年生草本で、戦後沖縄に帰化した。次第に北方まで広がるようになった。栃木県那須郡の草地試験場では、今飼料化の研究をすすめているようである。

(3)ニコゲヌカキビ(ワタゲキビ) *Panicum lanuginosum* ELL. 北アメリカ原産の一年生草本で、沖縄に帰化したものであるが、道内の苫小牧や白老でも見られるようになった。小穂は広倒卵形で長さ2.5~2.8mm、包えいや外えいに長い軟毛が散生している。沖縄県那覇市在住の多和田真淳氏は最初ワタゲキビの和名を与えた。

(4)ハナクサキビ *Panicum capillare* LINN. 北アメリカ原産の一年生草本で、茎や葉には乳房突起から出る長い毛が密生するが、小穂にはない。本種は太田顕氏によって小樽市ではじめて発見されたもので、オオクサキビ採集の目的で小樽市を訪れたところ、倉庫周辺のあき地で偶然見つけたということである。

(5)シナダレスズメガヤ *Eragrostis curvula* NEES 南アフリカ原産の多年生草本で、今では北海道から沖縄まで分布するようになった。根が強靱なため、道路の切割りや路肩に植え込んで、砂防工事に利用している。

Weeping-Love-Grassと愛称されているが、髪の毛のように細長い葉がそう生じて、風に動揺している様は、文学的な表現を借りるならば、まさしく「髪の毛を振り乱し、恋にすすり泣いている姿」に見えるであろう。

## Summary

The following five introduced grass taxa belonging to the Panicoideae and Eragrostoideae were collected and recorded from Hokkaido for the first time: *Cenchrus tribloides* L. (annual native to east coasts of North America and the West Indies), *Panicum dichotomiflorum* MICHX. (annual native of North and South America), *Panicum lanuginosum* ELL. (annual native of North America), *Panicum capillare* L. (annual native of North America), and *Eragrostis curvular* NEES (perennial native of South Africa).

(Received Oct.17,1981)

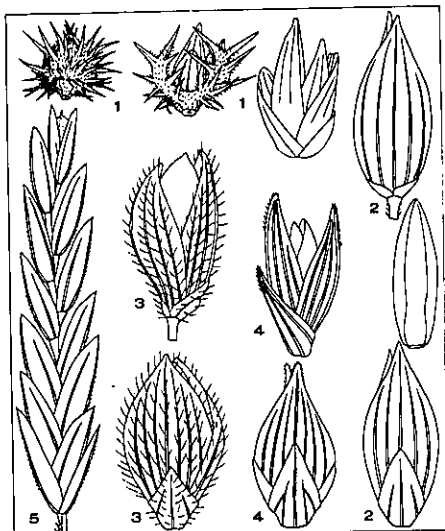


Fig. 1 Spikelets of the grass species recently introduced into Hokkaido, Japan, 1. *Cenchrus tribloides* L., 2. *Panicum dichotomiflorum* MICHX., 3. *Panicum lanuginosum* ELL., 4. *Panicum capillare* L., and 5. *Eragrostis curvular* NEES.